

固定給油設備の漏洩防止装置の性能に関する検証

1 目的

固定給油設備には様々な漏洩防止対策が講じられているが、その作動信頼性については、新品時に性能評価試験が行われているものの、使用によりある程度ダメージを受けている場合の性能についての試験結果は存在しない。複数回又は長期使用された漏洩防止装置について、適切に作動するか否かを確認することを目的とする。

2 検証内容

(1) 対象

固定給油設備を販売している3社以上のホースを各社10本以上、合計30本以上を対象とする。また、ホースは、使用開始から3年又は250万リットルになったもので、非ラッチオープンノズルと緊急離脱カプラが設けられているもの。

(2) 試験内容

緊急離脱カプラ	離脱 作動 試験	<p>① 緊急離脱カプラの軸芯方向の引張りで離脱する方式を用いるものにあつては、緊急離脱カプラに接続された給油ホース等のホース部を緊急離脱カプラの軸芯方向に引張り、800Nを越え1,800N以下の荷重で離脱することの確認を行う。作動試験は1回行う。繰り返し使用できるものは同一品で同様の試験を3回行う。</p> <p>② 緊急離脱カプラの軸芯以外の方向の引張りで離脱する方式を用いるものにあつては、取付（使用）状態が使用可能角度範囲内にあり、かつ、使用可能角度範囲内で引張り、800Nを越え1,800N以下の荷重で離脱することの確認を行う。</p>
	漏れ 試験	緊急離脱カプラが分離した状態で、ポンプ設定圧力で、実液又は代替液により10分間、分離した両方にそれぞれ加圧し、弁座部からの漏れ量が10分間で10mL以下であることの確認を行う。
満量停止装置	作動 試験	最大吐出量はガソリンの50L/min及び15L/minの吐出量において、それぞれ5回の作動試験を行い、ノズル先端の検知部が油液面を検知した場合に、速やかに異常なく給油が停止することの確認を行う。

3 経過

平成27年7月に株式会社タツノと業務委託の契約が交わされたため、8月下旬から9月にかけて試験を行い、9月末に結果をまとめる予定である。